

## 2018年度 Mリーグ開催要項

1. 主催： NPO 法人松戸市テニス協会（ホームページ <http://www.tennis-mta.org/>）

2. 参加資格団体： NPO 法人松戸市テニス協会加盟団体

3. 大会の目的・精神：

Mリーグは技術向上を目指しながら幅広いテニス仲間との親睦・交流を図り、“日本一テニスの盛んな街まつど”を実現する為の重要な団体戦として位置づける。

このMリーグは昭和58年(1983年)に冬場のシーズンオフにもテニスを楽しもうとの発案から「クラブ対抗リーグ戦」という名称で男子休日リーグが発足し、又その3年後に女子の部が開設された。当初は数チームの参加であったがその後徐々に参加チームが増え名称をMリーグとし、現在では市民大会を凌ぐ程の松戸市を象徴する大会に育った。テニスを楽しむことが目的である故、又団体戦と言う性格から「チーム内及び応援団と対戦相手との親睦」を優先し、同時に「競技性」も重視することを大会の精神としたものである。現在は「賞金」となっているが当初は「酒肴料」という名称で支給しているのはこれで親睦を大いに図って下さいと言う意味である。「親睦第一・勝負第一」を大会の精神とするものである。

4. Mリーグの概略スケジュール：

7月初旬 開催案内・開催要項の配布（ホームページ及びメール）

7月10日 団体登録名簿の締切

7月上旬～8月上旬 参加申込み期間並びに登録メンバーのスケジュール確認とコートの確保をスタート

8月中旬 Tier分け及びTier別対戦日程表作業～確定

8月下旬 試合日程作成スタート（～監督会議日迄に終了の事）

9/15(土) 監督会議／松戸市商工会議所会議室

第1部（平日・シニア・休日11Tier以上）

第2部（休日1～10Tier）

9月中旬 リーグ戦スタート

翌年1月末日終了（2月の試合は認めない）

1月下旬 賞金振込み開始

5. 選手資格及び登録順位：

①本年度7月10日までに本協会に提出された修正版団体会員名簿に登録されていないといけない。

シニアの選手資格は、今年12月末までに男子60歳、女子55歳となる男女とする。

②同一人物が複数チームに重複して選手及び監督の登録は出来ない、平日・休日・シニアの掛持ちも出来ない。

③チーム内に選手以外の監督専任者を置く事が出来る。

④チーム内の登録順位は実力順とする。

⑤市内在住・在勤・在学者の必要数は、選手登録5名以上、試合出場選手3名以上とする。

※但し、以下のテニススクールを開催する民間テニスクラブにおいては会員・スクール生を在クラブ員とみなしこの限りではない。（2018年6月時点で10団体）

紫陽花テニスクラブ、SYSテニスクラブ、IHSMテニスアリーナ松戸、塚山テニスクラブ、  
松戸テニスクラブ、BASIS、アルドールテニスステージ北松戸、SOL Tennis College、  
あじさいインドアテニススクール、コチインドアテニスクラブ

## 6. M リーグ参加料：

参加料は休日・平日1チーム当たり 5,000 円、シニア1チーム当たり 3,000 円とし、各団体において平日・休日・シニアを含め複数チーム登録をする場合、代表者による一括での振込みのみ受付とする。その場合振込みの所属団体・チーム名が必ず分かる様にする事。チーム名は別途メールにて記載でも良い。個々のチーム毎による振込みは中止とする。参加申込書送付前にテニス協会口座（協会ホームページ「お問い合わせ」参照）へ振り込むこと。

## 7. 参加申込方法：

①参加料を振込した後、当協会ホームページの M リーグページにある参加申込入力フォームの記載要領に従って直接入力する。

（注）送信ボタンを何度も押さないで下さい。同じ参加申込書が何通も送られてきてしまい、事務処理に多大な支障を来します。

②参加申込の受付期間は第4項の期間とする。

③1チーム最大選手登録は15名（専任監督を除き）とし、申込期間を過ぎての選手入替は認めない。選手の二重登録や選手名の誤記、或いは登録選手を間違えて入力せぬよう、団体内、及びチーム内での周知徹底を図っておく事。

④前年参加していたチームが翌年不参加となる場合、代表者（または監督）は締切日までにメールにて簡単な理由を添えて不参加の旨の連絡を行う。

## 8. チームの Tier 分け：

参加登録されたチームは原則として前年度の成績を基に Tier 分けされる。

最下位 Tier を除きすべて7チームの構成とする。

なお数が増える場合の最終 Tier に対しては賞金を配分するチームを増やし、7 Tier の場合を基準に別途、賞金を定める。

①前年度 Tier 内上位2チームは上位 Tier へ昇格し、下位2チームは下位 Tier へ降格する。

②前年度の成績が特に優秀であると理事会が認めた場合、2ランク以上アップする。

但し、平日・休日の1Tier への飛び昇格は無い（1Tier への昇格は2Tier からのみ）

③新規参加チームは最下位 Tier に登録することを原則とするが、MTA が上位 Tier の実力が有ると認めた場合は、実力相応の Tier に登録する。

④上記、②③に該当するチームが登録される Tier 以降からは2チーム以上が降格対象となる。

但し、この場合でも前年度3位に入ったチームは降格対象とはならない。

⑤同一 Tier 内に登録出来る同一団体所属チーム数の制限は無い。

⑥今年度参加チームの Tier 分け結果は8月下旬までに決定し、各チーム監督宛にメール送信する。

## 9. 試合日程作成：

第4項の期日（通常8月下旬）にホームページに掲載される Tier 別対戦日程表に、以下の順を厳守して入力する。

①ホームチームはホームの試合日を設定する。

注：この入力スタートになりますので監督は余裕を持って事前に選手日程確認・調整を行っておいて下さい。これは最優先事項です。

②ホーム試合日入力後、ビジター希望日を選択する。

③希望日が重なった場合にはビジターチーム間で調整を行う。（上書きは厳禁です。）

（注）この時点では12月末日迄が入力出来る。休日組は2月以降の試合が没収試合となることを考慮して土日祭日も出来るだけ利用し、日程に余裕を持たせる事。

## 10. Tier 内チームの連絡方法：

ホームページに掲載される Tier 内メーリングリストを利用して M リーグ担当役員、及び Tier 内全チーム宛に連絡し、

周知を図ること。

#### 1 1. 試合会場の確保及び一日の試合数：

試合会場確保に関し、8月下旬の各ホームチームのコート提示は円滑なスケジュール確定の為の重要な第一歩の作業である。この遅れはTier内の他チームへの大きな障害となるので、コート確保及び登録メンバーのスケジュール確認は参加申込みと同時に開始することを望む。特に自らのコートを持たないチームは民間コートの活用を含めて早めにその確保に努めること。

① コート2面を松戸市内に確保すること。やむを得ない事情がある場合でも、松戸市隣接区域内にコート2面を確保しなければならない。但し、対戦相手監督が了承すればコートは松戸市隣接区域外や1面でも可とする。また、1面の場合には一日1試合とする。

② ホームチーム側は、全試合が消化できる様コート確保する事。やむをえず消化できない試合(途中試合)は、細則9項の試合延期を適用する。

③一日2試合の場合は、十分間隔をとる事。一日3試合は禁止とする。

#### 1 2. 使用球：日本テニス協会公認球を使用し、ビジターチームが持参する。

#### 1 3. 試合方法：

平日・休日リーグは所属Tier**7チーム**での総当り戦とし、勝敗は単2、複3の5試合で決する。

シニアリーグは複のみの3試合で勝敗を決する

①単複とも各試合1セットマッチ(6-6の時は12ポイントタイブレーク)とする。

②試合は両チーム監督が合意すればノーアドや1ジュースノーアド方式を採用しても良い。

③最下位Tier内に8チーム以上が所属する場合の試合数は6試合とし、対戦方法はMTAが決める。

④シニアリーグにて8チーム以上の場合③項と同様とし、6チーム以下の場合には総当り戦とする。

#### 1 4. 対戦結果報告：

結果報告の責任者は原則、ホームチームの監督とするが、代行者を可とする。代行者は自団体の会員でも、相手側団体の会員でも可とする。

①報告責任者は当日中に対戦結果をホームページから直接入力すること。

②当日中に入力出来ぬ相当の理由があるときは、その旨、Tier内メーリングリストを利用して周知すること。その場合でも結果報告が遅れた場合はペナルティとして3日毎に1の成績判定時ペナルティ(後述)を科す。

なお、ペナルティはMリーグ終了後、纏めて処理しチーム成績に反映する。

#### 1 5. 日程変更：

日程変更は原則天候不順の場合のみとし、ホームチーム側の過失や思惑など、必然性が認められない日程変更があった場合は成績判定時のペナルティを科す。但し、例外として県民大会(団体戦)を勝ち上がり市の代表として都市対抗戦に出場が決まった選手の所属するチームは必要に応じて日程変更を認める。

①日程変更する場合は、No Showが発生せぬ様監督同士にて調整を行うこと。もしこれが不可の場合にはホームチーム側が複数の可能日を提示し、その中からビジター側が選択する。休日リーグの場合は次の土日、祭日の利用も考慮に入れ検討する事。

②ホームチーム側監督は、当初の試合予定日後1週間以内にホームページから直接日程変更届を入力すること。変更日程が決まらない場合は取敢えず仮の日程を入力のこと。報告が遅れた場合はホームチームに成績判定時のペナルティを科す。

#### 1 6. Tier内チームの順位付け：

①勝チームに勝ポイントを1与える。

②Tier内順位は、 a. 勝ポイント数、 b. セット数の得失差、 c. ゲーム数の得失差、 d. 当事者同士の対戦結果、 e. 当事者同士の対戦が無い場合は登録上位、の順で優るチームを上位とする。

17. 重大な違反と罰則：

登録選手と偽って別人を参加させた場合は当該チームをメンバー不足による敗者とすると同時に、入賞資格を剥奪する。また、次年度に於ける当該団体の参加資格を剥奪することがある。

この件に関し、監督は相手側選手の本人確認のために免許証等の提示を求める事が出来る。但し、提示までに2週間程度の猶予を認める。

18. 賞金：

各Tier1～3位迄のチームに対し賞金を支払う。

①賞金額・・・平日・休日 1位¥15,000.- 2位¥10,000.- 3位¥5,000.- (7チームの場合)

シニア 1位¥9,000.- 2位¥6,000.- 3位¥3,000.- (7チームの場合)

\* 8チーム以上の場合にはチーム数に応じて4位以下への賞金も支払う。

\* シニアリーグにて7チームに満たない場合にはチーム数に応じた賞金を支払う。

②賞金は団体別に取りまとめ、団体指定の銀行口座に一括して振り込む。

(賞金の振込先は予め決めておき、口座報告依頼後には速やかに報告のこと。)

19. 複数チーム登録のクラブ内で、次年度にチーム数を減じて登録する場合には、原則、前年度下位Tierチームを抹消とする。但し3チーム以上登録されている最下位Tierチームが上位チームと別組織(交流無し)の場合、テニス協会にその判断を仰ぐ事が出来る。

20. チーム同士の揉め事が発生し監督間での解決に至らない場合、申し出によりMTAが確認又はヒアリングを行いその結果によるMTA裁定を最終判断としこれに従う事。もし従わない場合には17. 重大な違反と罰則」に相当と判断し、ペナルティを科すと同時に次年度に於ける当該団体の参加資格を剥奪することがある。

21. Mリーグ担当役員：

Mリーグ統括、及び休日リーグ担当：瀧口

平日・シニアリーグ担当：佐伯

以上

## その他 細則 (原則、日本テニス協会が発行した今年度版「ルールブック」に準じる)

1. セルフジャッジ：Mリーグは「JTA テニスルールブック」の「アンパイアのつかない試合規則」に順じて競技を行う。  
両チームの監督及び選手は協力してロービングアンパイアの任務に当たることが出来る。
2. 試合会場の割振り：各チームが出来るだけ同じ条件になる様、ホーム&アウェイを考慮すること。
3. 対戦順序：同一Tier内に同一団体所属チームが登録されている場合はその対戦を前半に行うことを原則とする。
4. 試合順序：原則としてNo.2単、No.1単、No.3複、No.2複、No.1複の順とする。
5. オーダー交換：試合開始前に両チームの監督は、双方のオーダーの適正を確認し署名する。
  - ①同一選手による単複の重複出場は認めない。
  - ②シングルスNo.1、No.2は名簿の登録順位に従う。ダブルスはペアの登録順位の合計が少ないペアを上位とする。また、合計数が同じ場合は登録順位上位者のいるペアを上位とする。
  - ③オーダー訂正に際して、選手の入替え(単⇄複)や複のペア組換えは認めない。
  - ④相手側監督の了承を得られた場合は、試合順序を変更する事が出来る。
  - ⑤第一試合が開始された時点でオーダーと試合順序が確定し、以降の訂正は不可とする。  
また、この試合は有効となり、本協会が違反と認めた以外、異議は認められない。
  - ⑥登録選手と偽って別人を参加させた場合は当該チームをメンバー不足による敗者とする。
  - ⑦望ましくは試合開始前にメンバー全員での整列とするが、やむをえない場合、出場試合開始時間にコートに入るものとする。
6. No Show の扱い：  
ノーショウ(NS)試合があった場合、勝敗は5勝0敗とし、取得セット数は5、取得ゲーム数は30とする。これは、NSが試合途中で確定した場合にも適用する。
7. トーナメント倫理規定(一例)：
  - ①時間厳守：出場選手は、自身が出場する試合開始時刻には、いつでもプレーできる状態で試合会場に居なければならない。
  - ②連続的プレーの諸規定：
    - ・自然的体力消耗による疲労や病気によるプレーの遅延は「不当なゲームの遅延」となる。
    - ・第一ゲーム終了後とタイブレーク中、プレーは連続的でなければならない。休憩無しでエンドを交代しなければならない。休憩は第3ゲーム終了時から取れるが、90秒を超過してはならない。
  - ③観客が、一方のチームを応援する目的で相手チームを誹謗してはならない。
  - ④ベンチコーチがついて作戦を授ける事は出来るが、応援席からのコーチングは認められない。
  - ⑤服装については、清潔な礼儀正しい、習慣的に認められているテニスウェアを着用すること。
8. 試合途中での棄権：  
試合途中で棄権した選手には敗者として、それまでに取ったゲーム数が与えられ、相手側には勝者としてのゲーム数(6、或いは7)が与えられる。
9. 試合の延期：途中で試合を延期せざるを得ない場合(天候・日没・コート使用可能時間等)、再試合は同じメンバーで継続することが望ましいが、調整が無理と判断された場合に限り、オーダーの変更を可とする。但し、選手登録順位の規定は遵守すること。また、中断した試合を同じメンバーで継続できない場合は途中棄権扱いとする。

以上